

○図書委員おすすめの本紹介○

「絶対城先輩の妖怪学講座」峰守ひろかず／著

～怪奇現象のお悩みはありませんか？～

空に浮かぶ月の光が大学の校舎の廊下を照らす。「ぺたん。ぺたん。」不穏な足音が響き渡る…東勢大学経済学部1年の湯ノ山礼音にはとある悩みがあった。それは何十人もの相手が同時に怒鳴っている声が圧縮されているような、原因不明の「耳鳴り」だった。

そんな時、オカルトや妖怪に詳しい学生がいるという話を聞き、文学部四号館四階、四十四番資料室に行くことにした。

その部屋の主、絶対城阿頼耶が告げる「耳鳴り」の正体とは—？

怪奇現象に悩む人々からの相談を次々に解決していく絶対城阿頼耶 そしてもっと大きなことに巻き込まれていく。

四十四番資料室の怪人が紐解く伝奇ミステリ!!!
図書室に1～11巻があるのでぜひ読んでみてください！



○図書委員が選んだ記事 ○

『いきなり！ステーキ にわかにブレーキ』

「共食い」で大量閉店 米進出は失敗～家族連れ狙いサラダバー

※記事内容は図書館前で読めます。ぜひ、読みに来てください。

令和元年(2020年)1月21日 火曜日 朝日新聞

『この記事を読んでの感想』

自分はこの店に入ったことはありませんが、いきなりステーキの店舗数がこんなにも減っていることに驚きました。業績が回復するのいいと思いました。



中村 早苗先生（1年6組担任）にインタビューしました！



Q 好きな本はなんですか。

随筆の本が好きです。

筆者の飾らないままの考え方や日常生活が垣間見えるから。

Q 今の夢は何ですか。

世界旅行です。

絵や写真で見た本物を実際に見て触れてみたいから。

Q 翔陽高校の印象を教えてください。

素直で、元気のある生徒が多いと思います。

Q 生徒たちに守ってほしいこと。

プリントや、ノートの提出期限を守ってほしいです。

Q 月にどのくらい本を読みますか。

1~2冊くらい読みます。

Q 今、高校生に読んでほしい本は何ですか。

「人生の勝算」 前田 祐二／著

「メモの魔力」の著者でもあり、SHOW ROOMの社長でもあります。テレビにもよく出る方で、高校生の皆さんも知っていると思います。

作者は一見華やかな苦労のない人生を歩んでこられたように見えますが、幼い頃に両親を亡くされ親戚のところを転々としながら育てられています。その逆境を乗り越え、筆者自身は「マイナスからのスタートをいかにプラスに変えるか」を幼い頃から試行錯誤しながら考えて行動されています。その考え方が高校生の人生の選択にもヒントになるところがあると思います。



※ 御協力ありがとうございました。

